連絡先　物流・自動車局　審査・リコール課
リコール監理室
TEL 03-5253-8111 内線 42361
ｱﾄﾞﾚｽ　: http://www.mlit.go.jp

リ コ ー ル 届 出 一 覧 表

リコール届出日：令和５年１０月２５日

リ コ ー ル 届 出 番 号	５３９９	リ コ ー ル 開 始 日	令和５年１０月２６日
届出者の氏名又は名称	株式会社日野エンジニアリングアネックス 代表取締役社長　佐久間　弘次	問い合わせ先：品質管理部 TEL 042-985-3137	
不具合の部位（部品名）	緩衝装置（リーフサスペンション）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	トラニオンサスペンションの低床化改造をした大型車において、トラニオンスペーサの加工指示が不適切なため、組付け時にトラニオンシートとトラニオンスペーサの着座が不安定になっている。そのため、走行振動等によりトラニオンスペーサが摩耗することにより、リーフスプリングを固定するＵボルトの軸力が低下し、緩衝装置が機能しなくなるおそれがある。		
改 善 措 置 の 内 容	全車両、トラニオンスペーサの対策品と損傷が懸念される部品を交換する。		
不 具 合 件 数	３件	事 故 の 有 無	なし
発 見 の 動 機	車両メーカーからの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。 ・自動車特定整備事業者：全ユーザーを把握しており周知の措置はとらない。 No.５３９９のステッカーを貼付する。		

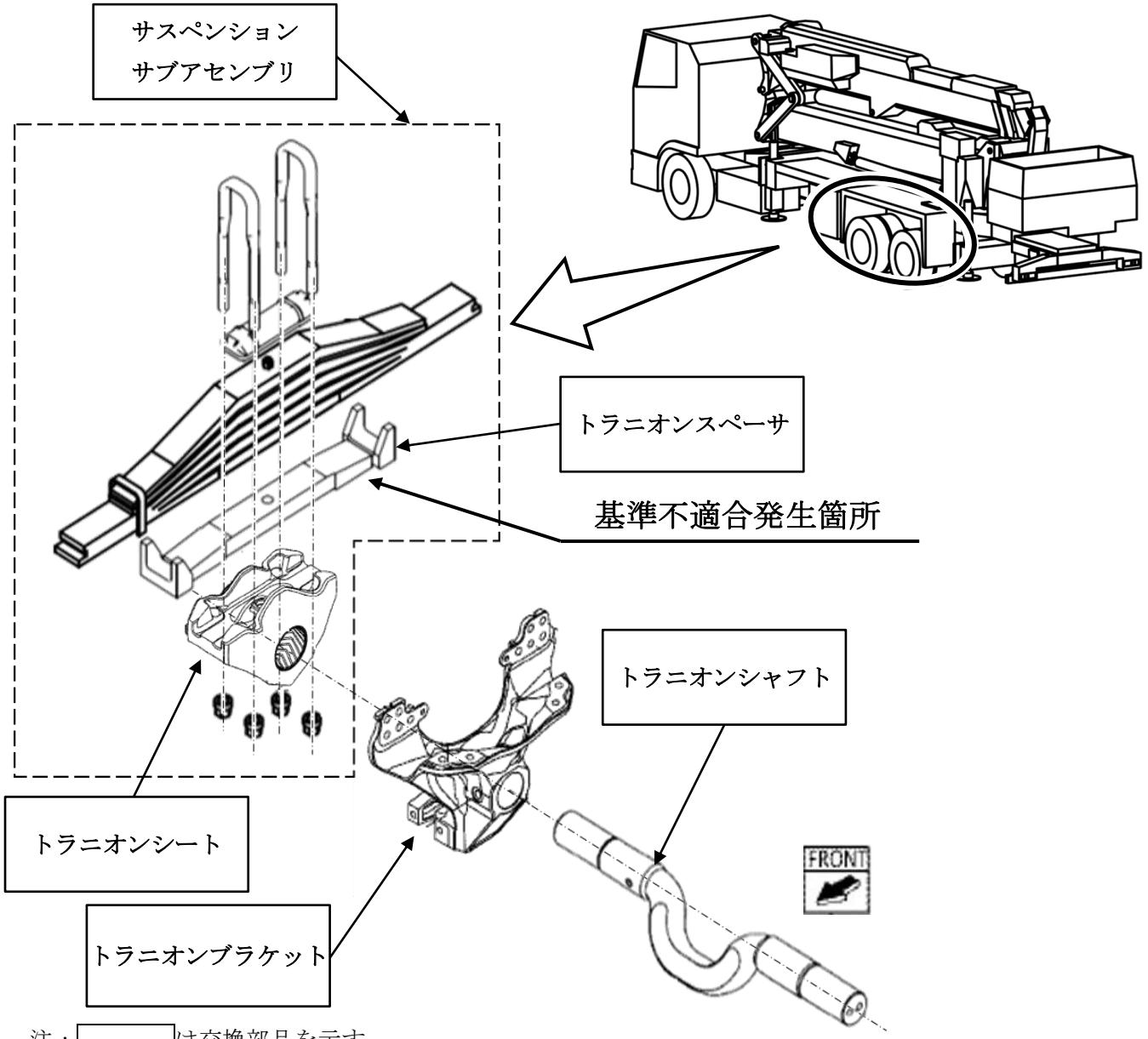
車 名	型 式	通 称 名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備 考
日 野	2DG-FR1AHA	「日野 プロフィア」	FR1AH-101043～FR1AH-103837 平成 30 年 3 月 14 日～平成 31 年 1 月 25 日	2	
	2DG-FS1EHA		FS1EH-100598～FS1EH-101324 令和元年 7 月 15 日～令和 4 年 2 月 4 日	21	
	（計 2 型式）	（計 1 車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成 30 年 3 月 14 日～令和 4 年 2 月 4 日	（計 23 台）	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

リ コ ー ル 対 象 車 の 主 要 諸 元

車 名	型　式	通 称 名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備　考
日 野	2DG-FR1AHA	「日野プロフィア」	普通・特種	粉粒体運搬車	A09C(8,866)	
	2DG-FS1EHA		普通・特種	高所作業車	E13C(12,913)	
	2DG-FS1EHA		普通・特種	道路作業車		

改善箇所説明図



注：□は交換部品を示す。

トラニオンサスペンションの低床化改造をした大型車において、トラニオンスペーサの加工指示が不適切なため、組付け時にトラニオンシートとトラニオンスペーサの着座が不安定になっている。そのため、走行振動等によりトラニオンスペーサが摩耗することにより、リーフスプリングを固定するUボルトの軸力が低下し、緩衝装置が機能しなくなるおそれがある。

改善の内容： 全車両、トラニオンスペーサの対策品と損傷が懸念される部品を交換する。

識別：改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカ付近にNo.５３９９のステッカーを貼付する。

〔参考〕

１．リコールに至る経緯

１）令和４年６月、「低床化を行った車両のリヤリーフスプリングがトラニオンブラケットと干渉している」と車両メーカーから情報を入手。

２）トラニオンスペーサの図面指示を確認したところ、トラニオンシートとの着座面の角部にＣ面取りの指示がないことを確認。（令和４年７月）

３）不具合車両を確認したところ、トラニオンスペーサとトラニオンシートの着座面の角部および隅部に干渉による摩耗を確認したためトラニオンスペーサを対策品へ交換を実施。（令和４年９月）

４）トラニオンブラケットの干渉による損傷部の検証と改善作業の事前検討に時間を要した。（令和５年９月）

５）本件は今後も発生するおそれがあることから、リコール届出を最終決定した。（令和５年１０月１８日）

２．不具合発生状況

型式	生産日	故障日	情報入手日	走行距離	発生地	道路	発生現象
2DG-FR1AHA	H30.3.14	R4.6.18	R4.6.18	190,000km	愛知	一般	トラニオンブラケットとリヤリーフスプリングが干渉。
2DG-FR1AHA	H31.1.25	R4.6.18	R4.6.18	148,843km	愛知	一般	
2DG-FS1EHA	R2.9.25	R4.6.23	R4.6.24	604km	香川	－	トラニオンブラケットとトラニオンスペーサが干渉。

計３件

３．起因調査結果

・トラニオンスペーサはトラニオンシートの座面に着座するように製作するが、トラニオンシート座面の隅部Ｒ３に対しトラニオンスペーサの角部はピン角のため、Ｒ止まりにトラニオンスペーサが乗り上げトラニオンシート座面に着座することなく隙間が生じた。

・隙間に気付かず、Ｕボルトは規定トルクで締付けられ、走行振動によりトラニオンスペーサがトラニオンシートの干渉部が次第に馴染んだことでＵボルトの軸力が低下しリーフスプリングの固定が効かなくなった。

・部品の加工指示不良を調査すると、当初はトラニオンスペーサを鋳物で製作する予定であったが、納期の遅延となることが分かり、納期を短縮できる機械加工品へ工法と材料の変更をおこなった。

・機械加工品への変更の際にトラニオンシートへの着座面端部の面取り加工指示を省いたことで本事案が発生。（鋳物は製作工法上、角部はＲ処理されておりトラニオンシートＲ部の乗上げはない。）

４．改善措置の基準適合確認結果

トラニオンスペーサのＣ面加工によりトラニオンシートの座面に着座し隙間がなく良好で問題ない。

５．リコール対象車の範囲及びその理由

不具合が発生するおそれがあるのは、平成３０年３月１４日から令和４年２月４日に出荷された後軸低床用トラニオンスペーサ装着車２３台に限る。

６．リコール対象車の輸出及び海外生産車の状況とその処置

対象となる輸出車はありません。

７．再発防止

部品を変更し使用する際は、変更前の部品との比較を忠実に行うこと。関連装置への影響を確認、検討することを設計手順書に追加し標準化する。

８．改善措置に要する作業時間

トラニオンスペーサの交換　　約３２時間／台・人

不具合発生一覧表

No.	型式	生産日	故障日	情報入手日	走行距離(km)	発生地	道路	発生現象
1	2DG-FR1AHA	H30.3.14	R4.6.18	R4.6.18	190,000km	愛知	一般	トラニオンブラケットとリヤリーフスプリングが干渉。
2	2DG-FR1AHA	H31.1.25	R4.6.18	R4.6.18	148,843km	愛知	一般	トラニオンブラケットとリヤリーフスプリングが干渉。
3	2DG-FS1EHA	R2.9.25	R4.6.23	R4.6.24	604km	香川	-	トラニオンブラケットとトラニオンスペーサが干渉。